

## Cognigy、GPT-4 標準搭載で、生成 AI により 対話型 AI ボットをより効率的に構築が可能に

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹、証券コード：7046）は、OpenAI 社の GPT-4 機能を標準搭載した対話型 AI プラットフォーム Cognigy の最新バージョンの提供を開始したことをお知らせします。

当社は、Cognigy V4.48 のリリースを発表いたします。これは、GPT-4 の生成 AI 技術を標準搭載し、より効率的に対話型 AI の開発が可能になったものです。

従来の NLP や NLU 技術では、AI の精度を高めるためにチャットボット導入時に多くの Q と A の文章を準備する必要があり、大きな負担となっていました。しかし、GPT-4 の生成 AI 技術を搭載した Cognigy は、学習用の一般的な問合せを自動生成することができます。また、自社特有の規約やマニュアルに関しては、オプションの QA ジェネレーターにて、自動的に大量の QA リストが生成できます。これにより、より回答精度の高い自然文でのやり取りが可能になり、今まで難しかった有人オペレーター対応業務の効率化など、より多様な用途に活用できることが期待されます。

この生成 AI は、一般的な用語辞書の自動作成や、対話型 AI の会話の流れの自動作成にも対応しております。

また、併せて有人オペレーターアシスタント機能も刷新し、インテリジェントルーティン、リアルタイムオペレーターアシスト、自動業務プロセス処理機能が追加され、オペレーター業務負荷を大幅に軽減できるようになりました。

当社は、このリリースにより、より賢い対話型 AI を普及させ、社会の発展に貢献することを目指しています。今後も、より高度で革新的な技術の開発に取り組んでまいります。

### Cognigy について

Cognigy は短時間で業務システムと連携した拡張性の高い対話型 AI（カンバセショナル AI）を設計・開発・運用が可能となるプラットフォームです。Cognigy の特徴は、①会話管理機能による顧客体験の向上、②有人オペレーターアシストによる業務負荷の軽減、③生成 AI をコア技術としたローコードによる効率的な開発・運用となり、業務に最適なソリューションをご提供します。



## 構築サービス

TDSE は Cognigy の導入だけでなく、お客様のご要望にあった対話型 AI ボット構築サービスも提供しております。

## 導入までの流れ

対話型AIへ適応する課題の理解から、設計、データ準備、開発、導入/運用までの各フェーズをご支援致します。また、ご要望により、専用のAIモデルも構築致します。



以上

### ■本件に関する問い合わせ先

TDSE 株式会社

〒163-1427

東京都新宿区西新宿 3-20-2 オペラシティタワー27 階

E-mail : [info@tdse.jp](mailto:info@tdse.jp)

24 時間受付 WEB : <https://cognigy.tdse.jp/contact/>

担当 : 山本 豊

現在全社テレワーク導入のため、お問い合わせはメールにて受け付けております。